

# 令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 人権・男女共同参画課  
 担当名: DV対策担当  
 内線: 2923

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B21	DV被害者等に対する自立支援強化事業			一般会計	総務費	県民費	男女共同参画推進費	ドメスティック・バイオレンス総合対策事業費	
事業期間	令和3年度～ 令和8年度	根拠法令	配偶者からの暴力防止及び被害者の保護等に関する法律		針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現		SDGsゴール 1, 5
					分野施策	0704	人権の尊重		SDGsターゲット 1-1, 5-1, 5-2
1 事業概要 DV被害者等の支援を行う民間団体の新たな人材確保を促し、自立支援を強化するとともに、婦人相談センター入所者に対し退所後に向け心のケアや就業支援を行う。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 自立支援サポーターの養成・登録 757千円 地域でDV被害者を支援する「自立支援サポーター」を養成し、登録制度を設け活動を促進する。 イ 登録サポーターのインターンシップ 400千円 意欲のある登録サポーターに団体でのインターンシップを実施し、団体スタッフへのマッチングを行う ウ 婦人相談センターでの「生活リスタート準備講座」の実施 736千円 退所後の就労による自立を支援するため、一歩を踏み出すための準備講座を実施 (2) 事業計画 ア 自立支援サポーター養成講座(定員20人 3日間 8コマ) 民間団体スタッフフォローアップ研修(定員50人) イ 登録サポーターインターンシップ(10人) ウ 個別カウンセリングによる仕事相談、就職の動機づけ、パソコン講座等の仕事準備及び心と体のケア(週3回×12月) (3) 事業効果 厳しい財政基盤で人材が不足している運営体制が脆弱な民間支援団体のスタッフが定着することにより、きめ細やかな個別支援が安定して実施できる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 DV被害者を支援している団体と連携して、DV被害者の自立支援等を実施している。 (5) 補正予算の概要 ア 報償費: 実施回数など体制の見直しに伴う減 イ その他: 経費節減に伴う減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,285							△1,285	1,893
現計額	3,178							3,178	

## 事業内訳書

事業名	DV被害者等に対する自立支援強化事業		
単位事業名	自立支援サポーターの養成・登録	予算額	△ 335千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△300	—	実施日数見直しに伴う講師謝金減額
旅費	△7	—	経費削減に伴う減額
需用費	△21	—	経費削減に伴う減額
役務費	△7	—	経費削減に伴う減額
合計	△335	—	

単位事業名	登録サポーターのインターンシップ	予算額	△ 640千円
-------	------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△640	—	実施回数が見込みを下回ったことに伴う減額
合計	△640	—	

単位事業名	生活リスタート準備講座	予算額	△ 310千円
-------	-------------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△300	—	講師謝金の減額
需用費	△10	—	経費削減に伴う減額
合計	△310	—	